

# れきみんで瀬戸内海を楽しむ見学ツアー



まだ知らない、瀬戸内を見つけに。

撮影：宮脇慎太郎

瀬戸内海国立公園は、昭和9年(1934)に日本で最初の国立公園に指定され、今年90周年を迎えます。これを記念して、さまざまな専門分野の講師をお招きし、瀬戸内海歴史民俗資料館で楽しみながら瀬戸内海について学ぶ全6回の見学ツアーを開催します。

## 第2回 「大地の成り立ちから見た瀬戸内海」 10:00-11:30

講師 **長谷川 修一 氏** (香川大学特任教授・名誉教授)

2024  
**7/20**  
(土)

瀬戸内海の風景は、1億年前からの3度の地球大変動と2万年前からの気候変動に伴う海面上昇によって造られました。美しい風景の成り立ちの秘密と、展示資料や展望台から見える景色などについて解説します。

【講師紹介】 専門は地質工学、地盤災害、地域防災。巨大災害やグローバリズムから地域を護る研究を行っている。また、ジオツーリズムや讃岐と備讃瀬戸のユネスコ世界ジオパーク認定を目指しており、その活動は近年県内外から注目を集めている。

## 第3回 「瀬戸内の気候を俯瞰する」 10:00-11:30

講師 **寺尾 徹 氏** (香川大学教授)

2024  
**8/10**  
(土)

瀬戸内地方は穏やかで降水量が少ない一方、時に記録的な災害も経験してきました。顕著な夕なぎ、干満差の大きな海、干ばつ、産業や暮らしへの影響など、瀬戸内気候について考えながら、展示資料や眺望も楽しんでみましょう。

【講師紹介】 専門は気象学。京都大学防災研究所助手などを経て現職。インドやバングラデシュをフィールドにしたアジアモンスーンの雨に加えて、瀬戸内地方の気象や水を対象にした研究活動を行っている。2019年、科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞。

会場 **瀬戸内海歴史民俗資料館** **参加無料**

**JR 高松駅⇄当館において、バス等による送迎(無料)を行います。**

集合：高松駅前広場の花時計前 出発 9:00

解散：JR 高松駅 到着 12:40 (予定)

定員等 **25名(要事前申込・先着順)**

申込期間 **6/11(火)から、定員になり次第終了**

バス等による送迎の申込締切

第2回は6/28(金)まで、第3回は7/10(水)まで

(ただし、見学ツアーが定員になり次第終了)

申込方法 **電話、「香川県電子申請・届出システム」\*を利用したインターネットから**

\*お申し込みの際は、行事名と氏名、電話番号をお知らせください。電子申請・届出システムをご利用の場合は、香川県ホームページの「オンライン手続等」から「電子申請・届出サービス」にアクセスし、本見学ツアー名から必要事項をご記入の上、お申し込みください。バス等による送迎も併せてお申し込みください。

【今後の予定】

第4回 9/21(土) 「船の道 瀬戸内海」

高松海上保安部職員

第5回 10/26(土) 「山装う五色台散策」

水沼佑太氏(OMUSUBI HIKE 登山ガイド)

第6回 11/9(土) 「下笠居の漁業」

西谷定憲氏(下笠居漁業協同組合職員)

\* 第4回の申し込みは8/1(木)から、第5回・第6回は9/5(木)から

## 瀬戸内海歴史民俗資料館

〒761-8001 高松市亀水町1412-2(五色台山上)

TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekish>



◎JR 高松駅から車で約25分・JR 坂出駅から車で約30分  
◎高松自動車道徳紙ICより車で約30分  
◎瀬戸中央自動車坂出北ICより車で約30分  
◎高松自動車道坂出ICより車で約35分  
◎駐車場：普通車 30台、大型バス可

